

環境の大切さ

校 長 武井 正明

ゴルフでよくあります。

調子がよくありません。苦手なホールに来ました。左はOB、右は崖。

打つ瞬間、嫌だな…結果は得てして最悪のものとなります。

人間はそれほどまでに外部からの情報や、自己の感情に左右されやすい生き物…。

直接の相手がいない競技。体操やカラーガード、吹奏楽…自分自身との勝負。技術以上に、自分の気持ちがより強くなければ、望む結果は得られない。

だからこそ、自分の環境が大事。

皆さん、自分の身の回りの人達を見てごらん。あなたの身近な人たちには、どんな人たちがいますか。

「類は友を呼ぶ」「朱に交われば赤くなる」「麻の中の蓬」「水は方円の器に従う」
これらの諺は、総て似たような意味です。

吉中は自転車通学の人が多いです。

その自転車、安全運転には常に気を配ってほしいですが、運転の仕方（どうすると安定して自転車は前に進むか）を、右足左足いちいち意識して登下校する人は皆無でしょう。

それはなぜか。体が覚えていて失敗するイメージが全くないからです。

私たちが、トッププロがすぐ近くに大勢のギャラリーがいるのに、平気な顔で難なくショットを打つ姿を見て「すごいなあ…」と感心することがあります。

本人は全く失敗するとは1ミリも思っていません。そして実際、ほぼ100%間違えません。だからプロフェッショナルなのですね。

これは人間関係にも当てはまることです。

常にポジティブな思考で毎日を過ごしている人と一緒にいると、自分まで前向きになります。いい発想がどんどん出てきます。反対に愚痴や文句ばかりの人と一緒にいると、自分まで不平不満が多くなってき、それは自分以外の環境や人にベクトルが向かいます。

そしてその基本は、間違いなく家庭です。親御さんが子どもたちに、できるだけ前向きな言葉掛けや、機嫌よく和やかに暮らしている姿勢を見せることが、10年後20年後お子さんが築く家庭の姿に大きく影響してきます。

大人だって余裕のない多忙な毎日です。でも…帰宅したら「今日も皆頑張ってきたね、お疲れ様！」と笑顔でお互いを労わりあう家庭であってほしいです。

その地道な積み重ねこそが、家族皆をしあわせに導いていく道だと、私は確信します。